

学芸員課程の手引

(2023)

工学院大学 学芸員課程

学芸員課程の手引

学芸員課程

索引

1. はじめに ー博物館と学芸員ー	1
2. 履修の手引	2
2-1. 学芸員課程の主な行事と標準履修プロセス		
2-2. 基礎資格および必要単位数		
2-3. 学芸員課程登録		
3. 博物館実習履修の手引	3
3-1. 博物館実習プロセス		
3-2. 学内演習		
3-3. 学外実習予備登録オリエンテーション		
3-4. 学外実習		
3-5. 博物館実習報告会		
4. 学芸員資格証明書の発行	6
5. おわりに ー学芸員のすすめー	6
6. 資料	8
6-1. 学芸員課程カリキュラム表（必修科目と選択科目）		
6-2. 学芸員課程登録票		
6-3. 学外実習先内定報告書		
6-4. 学外実習先として実績のある博物館・園		

1. はじめに ー博物館と学芸員ー

本学では、今後ますます高まると予想される生涯学習・社会教育への社会的要請に応え、博物館を中核とする社会教育施設において、国際的視野に立った幅広い社会教育や文化活動に指導的な立場で関わっていくことのできる人材、および社会教育に理解の深い市民を育成するために、工科系大学としてはきわめて例の少ない学芸員課程を1999(平成11)年度に創設した。

博物館には、考古学・歴史関係資料館、美術館、記念館、民芸館などの人文・社会科学系の博物館の他に、産業博物館、科学博物館、動物園、植物園、サイエンスセンター、天文館などの自然科学系の博物館が含まれる。この内、本学に関係の深い理工系の博物館は増加する傾向にあり、今後さらに発展することが期待される。

これら博物館には、専門職員として学芸員を置かなければならないことが法によって規定されている。(博物館法第4条第3項)

しかし、理工系分野に知識が豊富で、十分な社会教育に対応できる学芸員は現在ほとんどいない。本課程の設置は、このような現状にいち早く対応したものである。すでに学芸員として社会教育施設に就職した課程修了生が活躍しており、今後さらに増えると考えられる。博物館を内側から知ることのできる本課程での学習は、受講者の人生の幅を広げ、心を豊かにするものである。

学芸員の資格を取得するためには、**学士の学位を有し、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得しなければならない。**(博物館法第5条第1項)

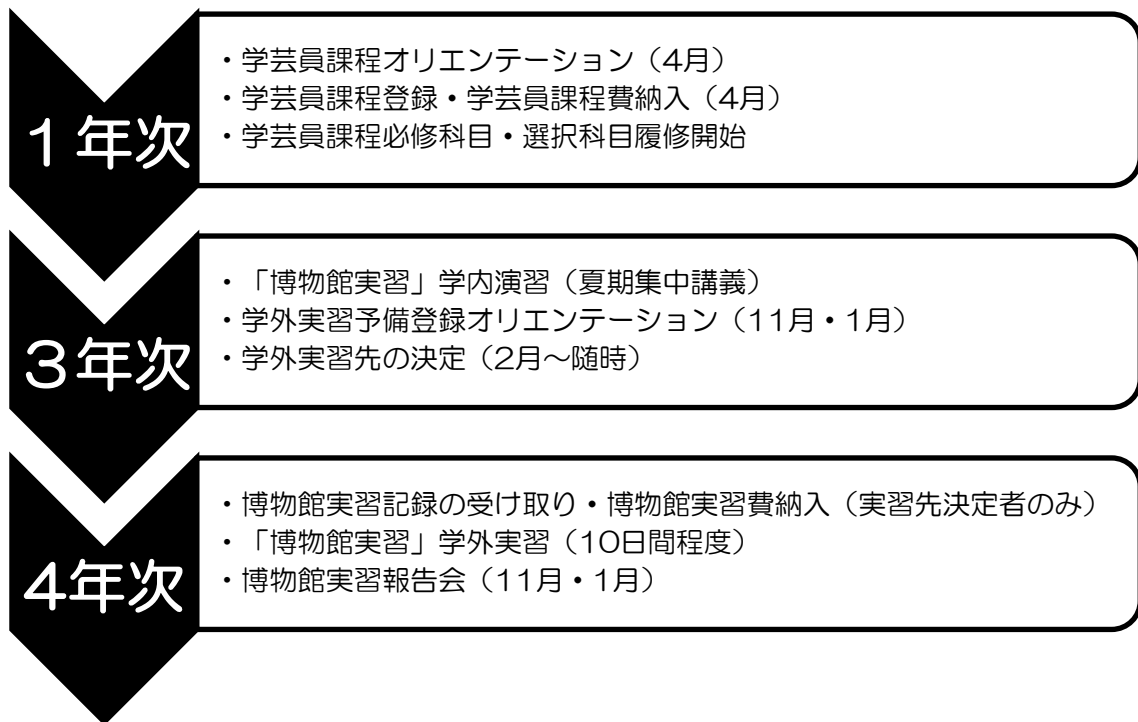
学芸員は、博物館資料の収集、整理保存の他、資料の調査・研究および教育的配慮の下での展示など、市民社会の生涯学習指向に応えるための社会教育活動を行う。このように、学芸員は、博物館等において博物館資料に関する情報を正しく社会に伝える社会教育の専門職である。

この手引は、学芸員課程で学び、学芸員資格を取得するために必要な事項をまとめたものである。本手引にしたがって、卒業までに資格が取得できるように計画的に履修すること。

2. 履修の手引

2-1. 学芸員課程の主な行事と標準履修プロセス

学芸員課程の履修にあたっては、登録を必要とする。登録は何年次でも可能であるが、低学年から履修を開始することが望ましい。下記に、主な行事と標準的な履修プロセスなどの概略を学年ごとに示した。



[学芸員科目受講上の注意]

- ・学芸員課程登録をしなければ、学芸員課程必修科目の履修は認められない。
- ・学芸員課程科目は、他の科目と同様にキューポートにてweb履修登録を行うこと。
- ・「博物館実習」（3,4年次配当）は2段階からなり、履修学年や他科目の修得状況に一定の要件がある。3年次にその第1段階の学内演習を受講、4年次（卒論着手者）に限り、第2段階の博物館での学外実習を行うことができる。詳細は、「3. 博物館実習履修の手引」を参照すること。
- ・「博物館実習」以外の科目については、履修に特別な制限は設けられていない。

履修・手続きに関する相談は、学生センター教務課（新宿キャンパス・八王子キャンパス）で受け付ける。行事の開催予定などは、学園ポータルシステム（キューポート）に掲示されるので、見落とさないこと。

2-2. 基礎資格および必要単位数

博物館法に基づく、本学での学芸員資格に必要な単位は以下のとおりである。

- ①基礎資格として、学士の学位を修得すること（大学を卒業すること）
- ②必要単位数

科目	単位数及び領域
必修	19単位
選択	選択科目領域の2領域以上にわたって履修すること。 ※選択科目の履修については、各学科の指導によるものとする。 (建築学部学生は、「文化史」6単位を必ず修得すること)

科目については、資料6-1のカリキュラム表を参照すること。

- (注)・修得した学芸員課程上の必修単位は、卒業要件単位には含まれない。
・教職課程を履修している場合、「社会教育」の単位は、学芸員の資格取得に必要な単位として取り扱われると同時に、教職課程の単位としても取り扱われる。

2-3. 学芸員課程登録

学芸員課程必修科目の履修を始める年度初めに、学芸員課程登録票（資料6-2）及び課程登録費10,000円を教務課窓口で納入しなければ登録できない。

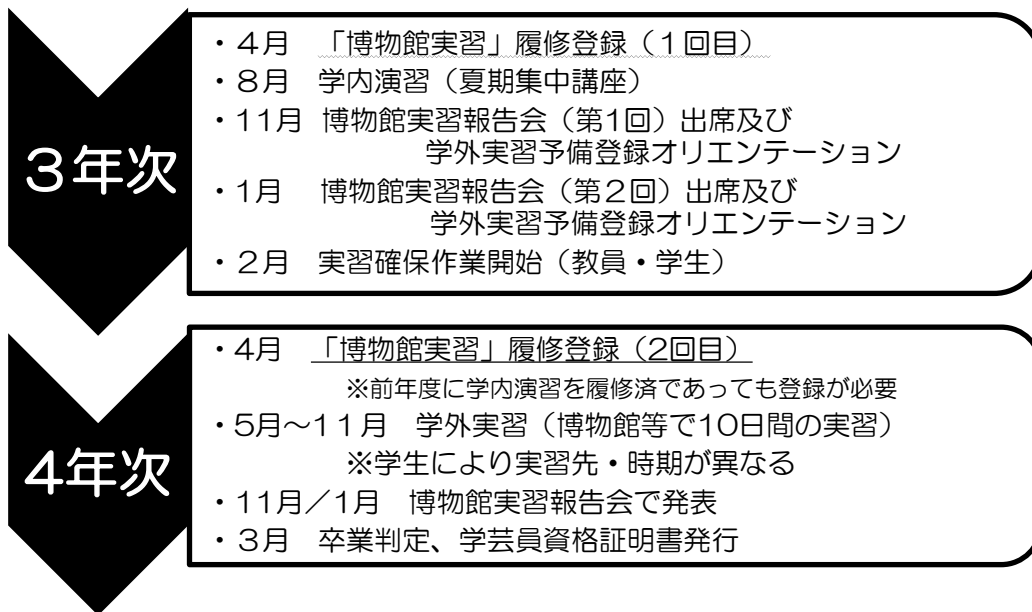
- (注)一旦納入した学芸員課程登録費は返還しない。

3. 博物館実習履修の手引

3-1. 博物館実習プロセス

3,4年次配当の「博物館実習」は、学内で講義・演習を行う学内演習（3年次・夏期集中授業）と、博物館などで実習を行う学外実習（4年次のみ・随時）の2段階で構成されている。

博物館実習の成績は、学内演習及び学外実習を総合的に評価する。学内演習のみを終了した年度（3年次）は、成績表にF（不合格）と記載されるが、学外実習を終えた年度（4年次）に評価がつく。学内演習を行う3年次だけでなく、学外実習を行う4年次も必ず「博物館実習」の履修登録を行うこと。



3-2. 学内演習

受講資格) ○3年次以上

ただし、必修科目の修得状況から、次年度の学外実習の推薦資格を得ることが困難と判断する場合には、次年度での受講を指導することがある。

○科目等履修生、大学院生

面接を兼ねた学外実習の事前指導である。学内演習としての評価が出る。ただし成績はFとしてこの時点では公表し、4年次の実習も含めた総合成績として公表される。

講義は、リレーショナルデータベースの取り扱いを含む。一般的なワープロソフトや表計算ソフトが使用できることを前提として講義・演習が実施されるので、低学年のうちからこれらに親しむことを心がけておくこと。

3-3. 学外実習オリエンテーション

受講資格) ○学内演習を修めた課程生

実習生としての自覚を喚起し、また実習館への円滑な推薦作業が行えるよう、次年度の学外実習に向けたオリエンテーションを11月及び1月に実施する。

3-4. 学外実習

受講資格) ○4年次(卒論着手者)以上

但し、学内演習を修め、博物館実習報告会及び学外実習オリエンテーションに出席し、実習館に推薦された者は「学外実習」を行うことができる。

原則として、学内演習を履修後、1年半以内に、学外実習を行うこと。

○科目等履修生、大学院生

成績証明書を持参の上、講義担当者に相談すること。

(注) 4年次初めに「博物館実習」の履修登録を別途しなければならない。

[実習館について]

実習先の確保は、担当教員と学生が協力して行う。実習希望館に各自で交渉すること。これまで実績のある館は資料6-4のとおり。

また、学外実習予定者に対しては、学内選考を実施する場合がある。選考は、実習希望者の単位修得状況・専攻分野と面接などに基づいて行う。実習館が決定するまで年度をまたいで不定期に行うので、学園ポータルシステム(キューポート)を随時確認すること。

実習期間は、学芸員の指導のもとに10日間程度の連続した期間とする。ただし、オリエンテーションと休日1日を含むことができる。館・園の事情や専門分野などを配慮して、実習期間の調整を指導することがあるので、館・園との交渉に際しては担当教員に事前に相談することが望ましい。

[実習館内定後の手続き]

学生が実習希望館と交渉して内定を得た場合には、内定報告書を教務課学芸員担当宛に速やかに提出し、推薦状などの必要書類の発行を申請する。

学外実習に必要な条件が満たされていると認められた場合には、担当教員から教務課に推薦状の発行を依頼する。学生が履歴書や誓約書、指定された課題レポートなどの必要書類を教務課に提出することにより、推薦状を添えて教務課から実習館宛に発送する。実習時期が確定しないまま推薦されることもある。この場合、確定次第、教務課に届け出ること。

(注) 学外実習先の決定や調整などの各種連絡は、教務課窓口やメールで行う。大学より与えられたメールアドレス(a123XXX@ns.kogakuin.ac.jp)を定期的に確認すること。担当教員との間で直接行うこともある。

[実習費について]

学外実習実施前に、博物館実習費として教務課窓口で20,000円を納入しなければならない。本手続きによって、本学指定の「博物館実習記録」を受け取ることができる。

(注) 一旦納入した博物館実習費は返還しない。

実習館によって、制服・教材等の購入に別途費用を要することがある。

3-5. 博物館実習報告会

博物館実習終了後、博物館での実習内容、学んだこと、感想等をプレゼンテーションで発表する報告会を行う。また、同時に要旨も作成する。

4. 学芸員資格証明書の発行

学芸員の資格取得に必要な所定の単位を修得し、卒業が確定した者に対し、大学より「学芸員資格証明書」を学位授与式当日に発行する。教務課（新宿キャンパス）で受け取ること。

5. おわりに —学芸員のすすめ—

博物館は総合的な事業を行っており、必要とされる人材も多岐にわたるが、博物館に就職するためには、学芸員資格を有することが望ましいのは言うまでもない。今後、理工系博物館が充実するのは社会的な要請と考えてよい。2001年7月に開館した日本科学未来館（東京、台場）をはじめ、次世代の理工系博物館は世界的に注目されてきた。

一方で、多くの公共施設が独立行政法人化し、従来の機能を維持しながらも、以前にも増してマネジメントが強化されることになろう。学芸員の仕事である、資料の収集・保存、調査・研究、展示・教育の基本はいつまでも変わることはない。しかし、このような社会の変化に理工系の視点をもって新しい風を博物館に吹き込むことは、社会的にも意義は大きいだろう。

企業においては、CI（Corporation Identity）の一環として、資料室や社史の編集を担当する広報部門に独自の博物館、資料館をもっていることがある。興味のある企業について調査しておくといよい。

また、博物館はその組織内部だけで全ての事業を行っているわけではない。最近では、学芸員と連携して博物館を支える企業が多数あり、展示製作会社、広告代理店や教材開発会社、マスメディアなどがこれらの事業を行っている。これら企業への就職に当たって、学芸員資格そのものが格段に有利であったり、資格の所持が採用の要件とはなっていない。しかし、このような分野で、理工系の技術と思考方法はこれからますます要求される時代となるのは明らかで、博物館の組織や機能を理解しておくことは大切である。いち早く時代を先取りすることができるだろう。

博物館を利用する立場からも社会教育に理解を深め、豊かな人生を送る一助としたい。

○ 国立科学博物館 大学パートナーシップ

本学は、2006年6月から「国立科学博物館 大学パートナーシップ」に入会しています。この制度は、学生の科学リテラシーやサイエンスコミュニケーション能力向上に、大学と国立科学博物館が連携して、事業を推進するものです。

これに伴い、本学の学生（学部生・大学院生）は、国立科学博物館（東京都台東区上野公園）、附属自然教育園（東京都港区）、筑波実験植物園（茨城県つくば市）の入館窓口で学生証を提示することにより、常設展は無料で、特別展を割引価格で利用することができます。

その他、「サイエンスコミュニケーター養成実践講座」、「大学生のための科学技術史講座」、「大学生のための自然史講座」の受講や「学芸員資格取得のための博物館実習」の実施を優先的に受け入れていただいています。

科博 HP <https://www.kahaku.go.jp/procedure/partnership/index.html>

6. 資料

6-1. 学芸員課程カリキュラム表

2023年(令和5年)度入学生用（先進工学部、工学部、建築学部、情報学部）

授 業 科 目		授業形態	学年	履修期	単位数	備考	
必修科目	社 会 教 育	講義	1年	前期または集中	2単位	注1)	
	博 物 館 概 論	講義	1年	集中	2単位		
	博 物 館 経 営 論	講義	2年	集中	2単位		
	博 物 館 資 料 論	講義	2年	集中	2単位		
	博 物 館 資 料 保 存 論	講義	2年	集中	2単位		
	博 物 館 展 示 論	講義	2年	集中	2単位		
	博 物 館 教 育 論	講義	1年	集中	2単位		
	博 物 館 情 報 ・ メ デ ィ ア 論	講義	1年	集中	2単位		
	博 物 館 実 習	講実	3・4年	集中	3単位	3、4年次共に必履修	
選 択 科 目	文化史	日 本 建 築 史	講義	2年	後期	2単位	注2) 建築学部
		西 洋 建 築 史	講義	1年	後期	2単位	注2) 建築学部
		近 代 建 築 史	講義	3年	前期	2単位	注2) 建築学部
	自然科学史	科 学 論 A	講義	2年	前期	2単位	全学部
		科 学 論 B	講義	2年	後期	2単位	全学部
	物 理	物 理 学 及 び 演 習 I	講義・演習	1年	1Q	1.5単位	先進工学部・工学部・情報学部
		物 理 学 及 び 演 習 II	講義・演習	1年	2Q	1.5単位	先進工学部・工学部・情報学部
		物 理 学 及 び 演 習 III A	講義・演習	1年	3Qまたは4Q	1.5単位	工学部
		物 理 学 及 び 演 習 III B	講義・演習	1年	3Qまたは4Q	1.5単位	工学部(電気電子工学科)
		物 理 学 及 び 演 習 III C	講義・演習	1年	3Qまたは4Q	1.5単位	工学部(機械工学科・機械システム工学科) 情報学部
		物 理 学 及 び 演 習 III D	講義・演習	1年	3Qまたは4Q	1.5単位	情報学部
		物 理 学 概 論 I	講義	1年	後期	2単位	建築学部
	物 理 学 概 論 II	講義	2年	前期または後期	2単位	建築学部	
	化 学	化 学 及 び 演 習 I	講義・演習	1年または2年	1Q	1.5単位	先進工学部・工学部・情報学部
		化 学 及 び 演 習 II	講義・演習	1年または2年	2Q	1.5単位	先進工学部・工学部・情報学部
		化 学 物 質 論	講義	1年または2年	3Q	1単位	工学部
化 学 現 象 論		講義	1年または2年	4Q	1単位	工学部	
化 学 概 論		講義	1年	後期	2単位	建築学部	
生 物 学	生 物 学	講義	1年	1Qまたは2Q	1単位	先進工学部	
	生 物 学 概 論	講義	1年または2年	前期または後期	2単位	工学部・建築学部	
	生 物 学 基 礎 論	講義	2年	前期	2単位	情報学部	
地 学	地 学	講義	1年	1Qまたは2Q	1単位	先進工学部	

注1) 「社会教育」は教職科目と共通開講

注2) 建築学部は、文化史全て（「西洋建築史」「近代建築史」「日本建築史」）を必ず修得すること

注3) 上記学芸員課程上の必修科目は、卒業単位に算入されない

6-2. 学芸員課程登録票

[表]

2023年度 学芸員登録票

登録日： / /

【1】学生情報			
【所属】	学部	学科	年
【学籍番号】半角7桁			
【氏名 ふりがな】		【生年月日】	/ / (西暦)
【氏名 漢字】		【本籍地】	(都道府県のみ)
【現住所】	〒 -		
【自宅電話】		【携帯電話】	
【E-MAIL】			
【出身中学】	立		中学校
【出身高校】	立		高等学校

【2】調書	
【現在の健康状況】	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> その他 ()
【特技】	
【趣味】	
【所属クラブ等】	中学： 高校： 大学：
【長所】	
【短所】	
【学芸員課程を履修しようとした理由】	
【職歴】	年 月～ 年 月 職種： 年 月～ 年 月 職種：
【備考】	※外国籍の方で本名と通称が異なる方は、本名を記載 ()

個人情報は、課程登録に関する事柄以外には使用いたしません

[裏]

学籍番号
氏名

【4】履修計画 ※履修予定欄に、履修学年計画を入力してください。					
必修/選択	科目名	単位数	履修学年 目安	履修予定	備考
必修	社会教育	2	1		
	博物館概論	2	1		
	博物館経営論	2	2		
	博物館資料論	2	2		
	博物館資料保存論	2	2		
	博物館展示論	2	2		
	博物館教育論	2	1		
	博物館情報・メディア論	2	1		
	博物館実習	3	3・4		
選択	〈文化史〉※建築系学科のみ下記3科目必修				
	西洋建築史	2	1		
	日本建築史	2	2		
	近代建築史	2	3		

6-3. 学外実習先内定報告書（書式）

提出年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

実習先博物館内定報告書：書類発行依頼状

下記のように、実習先博物館が内定しましたので、報告します。

実習にあたり、大学・実習館の規則を守りますので、推薦書類の発行をお願い致します。

実習内定者氏名		
学部・学科	学部 _____ 学科 _____	履修登録 ※ <input type="checkbox"/>
学籍番号		予備登録 ※ <input type="checkbox"/>
所属研究室名	(_____) 研究室	
携帯電話番号		

実習内定館・園名	
館長(書類宛先)名	
書類送付先	〒 _____

実習情報

実習期間	_____ 月 _____ 日 (_____ 曜日) ~ _____ 月 _____ 日 (_____ 曜日)
実習日数・休日	日間 《 _____ 月 _____ 日 (_____ 曜日) 休》
オリエンテーション	_____ 月 _____ 日 (_____ 曜日)
実習期間未定の場合	_____ 月 _____ 日頃の決定をめどに作業中
アクセス時間	住居から _____ 分 程度

実習館への提出書類

実習館宛提出期限： _____ 月 _____ 日		書式 (必要な場合)		大学使用欄※
<input type="checkbox"/>	期限の指定はないが早期希望	限定	任意	
<input type="checkbox"/>	実習期間未定のまま発行希望			
<input type="checkbox"/>	学長または学部長発行の依頼状	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	実習生の履歴書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	提出 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	レポート (志望動機など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	提出 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	単位取得状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

その他の場合に必要書類などの連絡事項：

6-4. 学外実習先として実績のある博物館・園

本表に、2022年度までに受け入れ実績のある館・園を記載した

◆ 科学館など

国立科学博物館(分館・本館)	千葉県立現代産業科学館	科学技術館
未来科学技術情報館	通信総合博物館	航空科学博物館
交通博物館	地下鉄博物館	船の科学館
伊勢原市立こども科学館	板橋区立教育科学館	多摩六都科学館
相模川ふれあい科学館	高崎市少年科学館	八王子市こども科学館
こどもの城	さいたま市青少年宇宙科学館	さいたま川の博物館
入間市博物館	埼玉県立さきたま資料館	地質標本館
川崎市青少年科学館	神奈川県立生命の星・地球博物館	横浜こども科学館
りくべつ宇宙地球科学館	芝山町立芝山古墳・はにわ博物館	名古屋市科学館
美幌農業館/美幌博物館	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	コニカミノルタサイエンスドーム
杉並区立科学館	八ヶ岳総合博物館	相模原市立博物館
かわさき宙と緑の科学館	はまぎんこども宇宙科学館	広島市江波山気象館
佐久市子ども未来館	木組み博物館	横浜都市発展記念館
相模原市立博物館	千葉県立現代産業科学館	相模原市立博物館
北海道博物館	さいたま緑の森博物館	

◆ 動植物園

多摩動物公園	狭山市立智光山公園こども動物園	葛西臨海水族園
井の頭自然文化園	かごしま水族館	進化生物学研究所
川口市立グリーンセンター	馬の博物館	神奈川県立フワワセンター大船植物園
恩賜上野動物園	横浜市立金沢動物園	さいたま水族館
羽村市動物公園	夢の島熱帯植物館	足立区生物園
埼玉県自然学習センター		

◆ 人文・社会系博物館

江戸東京博物館	新宿歴史博物館	大田区立郷土博物館
三島市郷土資料館	横須賀市自然・人文博物館	府中市郷土の森資料館
昭和のくらし博物館	川崎市立日本民家園	港区立港郷土資料館
シルク博物館	秩父宮記念スポーツ博物館	田原市博物館
川越市立博物館	富士見市立難波田城資料館	青梅きもの博物館
近江神宮時計博物館	たばこと塩の博物館	横山大観記念館
調布市郷土博物館	蕨市歴史民俗資料館	西田幾多郎記念哲学館
葛飾区郷土と天文の博物館	旧坂東家住宅見沼くらしっく館	朝霞市博物館
山梨県立博物館	加曾利貝塚博物館	次大夫堀公園民家園
平塚市博物館	博物館明治村	神奈川県立公文書館
鎌ヶ谷市郷土博物館	野球殿堂博物館	埼玉県立さきたま史跡の博物館
遠野市博物館	狭山市立博物館	うきは市立浮羽・吉井歴史民俗資料館
東村山ふるさと歴史館	郵政博物館	

◆ 美術館など

プリジストン美術館	GALERIE TAISEI	東京富士美術館
すどう美術館	石川県立美術館	福島県立美術館
朝日画廊	横浜美術館	世田谷美術館
民音音楽博物館	東京国立近代美術館フィルムセンター	目黒区美術館
府中市美術館	東京都写真美術館	川崎市民ミュージアム
平等院ミュージアム鳳翔館	北野美術館	ハウステンボス美術館・博物館
松濤美術館	金沢21世紀美術館	

(注) 学外実習は、館・園の好意によって実施されている。なお、これらの社会教育施設の中には、現在学芸員がいない施設もあるので注意すること。

教職課程・学芸員課程 教員

科長 教授 内山 宗昭 E-mail : ft87115@ns.kogakuin.ac.jp
(新宿校舎・A-2733 室) (八王子校舎・1E-309 室)

幹事 教授 安部 芳絵 E-mail : abeyoshie@cc.kogakuin.ac.jp
(新宿校舎・A-2733 室) (八王子校舎・1S-326 室)

教授 尾高 進 E-mail : odaka@cc.kogakuin.ac.jp
(新宿校舎・A-2733 室) (八王子校舎・1S-328 室)

教職課程・学芸員課程 事務

新宿校舎 教務課 (高層棟 12 階学生センター 2 番窓口)

八王子校舎 教務課 (1 号館 1 階学生センター 2 番窓口)

E-mail : shikaku@sc.kogakuin.ac.jp

電話 : 03-3340-0884

教 職 課 程 の 手 引
学 芸 員 課 程 の 手 引

発行年月日 2023年4月1日
発 行 所 工学院大学 教 職 課 程 ・ 学 芸 員 課 程
〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2